

第9回 建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成23年5月17日（火）18：00～20：00

場 所：中央合同庁舎3号館 8階国際会議室

○ 東日本大震災への対応及び建設産業の再生と発展のための具体的な方策について審議し、委員から以下のような発言があった。

(復旧・復興工事による建設投資の増加等への対応)

- ・建設投資へのインパクトはそれほど多くなく全体を数%押し上げる程度ではないか。
- ・地元優先発注になっているが、被災して重機や技能者の調達ができないという声も聞く。
- ・ある程度広域的に請け負うという方式も活用できるのではないか。
- ・大手の全国的な調達力を活用することもできるのではないか。
- ・非常時の対応として運用の緩和等を検討する際には、復旧工事であっても安全・品質確保ができないのであれば緩和すべきではないことに留意。

(保険未加入企業の排除について)

- ・まずは元請企業の加入を100%にすることを目指すべき。公共事業で適格要件とすることはできないか。
- ・保険加入の企業負担について発注者の理解が不可欠。
- ・偽装請負等の法令違反について指導を強化すべき。
- ・コストに見合うメリット又はプレッシャーがなければ、一人親方の増加にもつながりかねない。

(海外展開支援について)

- ・留学生の活用や、現地企業・現地の人材の活用ができていない。
- ・内なる国際化（海外ルールの導入）も必要ではないか。

(新分野展開支援、再編・転業・廃業時の支援について)

- ・予算事業について支援後のフォローがなされていないのではないか。
- ・小規模化を是正するため、再編支援が重要ではないか。

【今後の予定】

○ 次回は5月31日（火）に開催し、引き続き、建設産業の再生と発展のための具体的な方策について審議を行うこととなった。